

とやま未来創生戦略施策評価		とりまとめ担当部局・室課： 少子化対策・県民活躍課				TEL（直通） 076-444-3137		
<p>【とやま未来創生戦略 施策評価表】</p>								
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上							
基本的方向	女性が輝いて働ける環境づくり							
具体的施策（大分類）	様々な分野で活躍できる女性人材育成							
具体的施策	59 企業等における女性の活躍促進や女性人材育成の推進							
<p>【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】</p>								
KPI名／実績	管理的職業従事者に占める女性の割合	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		5.7% (H22)	7.60%	—	—	—	—	9.80%
評価指標動向の説明	・本県は、ものづくり産業のウエイトが比較的高いことなどを反映して、民間事業所も含め管理職に就く女性の割合は、全国平均と比べて低い状況にある。（H27:7.6%/全国44位（全国平均9.7%））							
達成度合い（または見通し）	概ね達成（見込み）							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・煌めく女性リーダー塾の開催や女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援など女性活躍の取組みを実施してきたこと、また前回調査（H22:5.7%）からの伸び率（1.9ポイント）を考慮し、概ね達成見込みとした。							
KPI名／実績	専門的・技術的職業従事者のうち研究者及び技術者における女性の割合	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		11.8% (H22)	13.60%	—	—	—	—	14.10%
評価指標動向の説明	・本県の専門的・技術的職業従事者のうち研究者及び技術者における女性の割合は13.6%（H27、全国2位）と、全国的に高い状況にある。							
達成度合い（または見通し）	達成（見込み）							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・本県は、専門的知識が必要とされる業種の多いものづくり産業のウエイトが高く、また前回調査（H22:11.8%）からの伸び率（1.8ポイント）を考慮し、達成見込みとした。							
KPI名／実績	男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所数	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		167事業所	192事業所	201事業所	213事業所	216事業所	230事業所	230事業所
評価指標動向の説明	・H31はH30から14事業所増加するなど、近年順調に増加している。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・H31は230事業所となり、目標を達成した。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								

達成度合い（または見通し）の判断理由									
K P I 名／実績	策定時	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	実績	目標		
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)		
評価指標動向の説明									
達成度合い（または見通し）									
達成度合い（または見通し）の判断理由									
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】									
最近の動き					連携事業				
<p>・女性活躍推進法(H28.4完全施行)や「働き方改革実行計画」(H29.3.28働き方改革実現会議決定)において、女性活躍や生産性向上に資する働き方改革の推進が目指されている。</p>					<p>・「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」(H29.6設置)及び「女性の活躍推進委員会」(H29.7設置)において、経済団体、労働団体、有識者、行政等と連携し働き方改革や女性の活躍推進に向けた取組みを推進している。</p> <p>・イクボス企業同盟とやま(H29.7.25設立)やとやまイクボスシンポジウムの開催などを通じ、企業間のネットワーク構築を推進している。</p>				
【3 主な具体的事業の実施状況】									
事業名		主な予算		実施状況					
煌めく女性ネットワーク事業		H31 予算		<p>・リーダーをめざす女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種・職種のを超えたネットワークを構築 (H31 塾生：アクションラーニングコース28名、スキルアップコース53名)</p>					
女性が輝く元気企業とやま表彰事業		H31 予算		<p>・女性の登用や能力開発など女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を顕彰(H19～H31:36事業所)</p>					
【4 施策の進捗状況】									
第1期 (H27～R1) の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要								
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<p>・女性の活躍推進に積極的な企業の顕彰「女性が輝く元気企業とやま賞」(H19～H31：計36事業所)や、企業トップや役員クラスへの男女共同参画チーフ・オフィサーの委嘱(H31：230事業所)、企業等で働く女性の自己研鑽とネットワーク構築を目指す「煌めく女性リーダー塾」(H31：81名)イクボス企業同盟とやま(H31.3末：155団体)、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援の取組みなど、男女共同参画や女性の活躍推進に取り組む企業は増えている。</p> <p>・女性活躍推進をテーマとしたセミナーを開催して県内企業トップの意識改革の促進を図ったほか、課題が共通することが多い業界や業種ごとの研修会等にアドバイザーを派遣し、業界全体での女性活躍推進の取組みを促進している。</p>								
第2期 (R2～R6) に向けての課題	<p>・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の届出状況については、義務付け(従業員301人以上)企業はほぼ100.0%が届出をしている一方、努力義務(従業員300人以下)企業の取組みが進んでおらず、従業員101～300人企業の届出は7.6%(R2.3末)に留まるなど、中小企業の女性活躍が十分には進んでいない状況にある。</p>								
今後の施策の方向性	<p>・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画について、男女共同参画チーフオフィサー設置事業所やイクボス加盟企業など女性活躍の取組みを始めていると思われる企業を中心に社会保険労務士を派遣し、計画策定の支援を行う。また、行動計画を策定した中小企業に対し建設工事の入札参加資格審査の加点を実施していることから、建設業に対し周知を図る。施策の進捗状況については、経済団体、労働団体、行政等からなる「女性の活躍推進委員会」とも連携し、効果的な実施について検証する。</p>								
【5 施策等の改善結果】									
R3当初予算への反映状況	<p>・企業等での男女共同参画や女性の活躍を推進するため、中小企業への女性活躍・働き方改革推進員の派遣や男女共同参画チーフ・オフィサー制度、女性のキャリアアップ支援を引き続き実施するとともに、新たに県内企業の実態調査や官民連携による戦略会議を設置し女性活躍推進戦略を策定するなど、企業や経済団体、関係機関と連携しながら女性が活躍できる環境づくりを推進していく。</p>								

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	女性が輝いて働ける環境づくり
具体的施策（大分類）	様々な分野で活躍できる女性人材育成
具体的施策	60 男性が家事・育児・介護等に参画できる環境整備の推進

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	6歳未満の子どもを持つ男性の育児・家事関連時間	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		84分(H23)	—	65分	—	—	—	158分
評価指標動向の説明	・6歳未満の子どもを持つ男性の育児・家事関連時間は、65分と、全国平均（83分）を下回っている（全国40位）。							
達成度合い（または見通し）	未達成（見込み）							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・学生向けの出前講座や企業経営者等向けのセミナーの開催、県美向けキャンペーンの実施を通して、男性の家事育児参画を推進しているものの、最新値と目標が大きく乖離しているため、未達成見込みとした。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<p>・女性活躍推進法(H28.4完全施行)や「働き方改革実行計画」(H29.3.28働き方改革実現会議決定)において、女性活躍や生産性向上に資する働き方改革の推進が目指されている。</p>				<p>・「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」を設置(H29.6)し、経済団体、労働団体、有識者、行政等が一体となって働き方改革推進に向けた取組みを推進している。</p> <p>・「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」に「女性の活躍推進委員会」(H29.7)を設置し、仕事と家庭の両立支援など女性の活躍推進に向けた取組みを推進している。</p>			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名		主な予算		実施状況			
富山県男女共同参画推進員設置事業		H31予算		<p>・県内全市町村に男女共同参画推進員を設置し、地域における男女共同参画の啓発・普及活動を実施(H31:538名)</p>			
富山県イクボス企業同盟推進事業		H31予算		<p>・企業・団体・行政等の枠を超えたネットワーク「イクボス企業同盟とやま」を設立し、イクボスや働き方改革に関する先進的な取組みを共有(H31:155団体加盟)</p>			
女性のキャリアデザイン応援事業		H31予算		<p>・ライフデザイン応援出前講座として、大学や専門学校への出前講座を実施し、結婚や出産、働き方等、現在の社会状況や今後予想される変化を踏まえた将来のライフプランについて考える機会を提供(2校3回、計151)</p>			
【4 施策の進捗状況】							
第1期(H27~R1)の評価	C さらなる重点的な施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<p>・ライフデザイン応援出前講座の実施等により、男女ともに結婚や出産、働き方等を含む人生設計に関する意識啓発を図るとともに、「イクボス企業同盟とやま」の設立により、仕事と家庭の両立を応援する企業の取組みを推進している。</p> <p>・一方で、男性の家事・育児関連時間や男性の育児休業取得率は依然として低水準で推移しているため、「C さらなる重点的な施策の推進が必要」とした。</p>						
第2期(R2~R6)に向けての課題	<p>・家事及び育児の約8割は妻が主に担っている(男女共同参画社会に関する意識調査(H27))ことや長時間労働を前提とした男性中心型労働慣行が依然として根付いているなどの課題がある。</p> <p>・本県男性の育児休業取得率は依然として女性に比べると低く、H29には全国平均を下回っている。 H29:男性2.8%(全国5.14%)、女性98.1%(全国83.2%) H30:男性3.9%、女性:98.2% H31:男性3.0%、女性:98.2%</p>						
今後の施策の方向性	<p>・企業に対してイクボス企業同盟とやまへの加盟を促し、県内企業トップの意識改革・働き方の見直しを推進するとともに、イクボスとしての具体的な取組みを促すため、イクボスや働き方改革の実践を学ぶ講座の開催や、新聞やホームページを活用した優良事例の紹介などに取組み、企業・経済団体・関係機関等と連携しながら、男性の主体的な家事・育児参画を促進していく。</p>						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<p>・「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」及び「女性の活躍推進委員会」の開催を通じ、引き続き、企業・経済団体・関係機関等と連携しながら男性の主体的な家事・育児参画を促進していく。</p> <p>・イクボス企業同盟とやま加盟団体や男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所等を対象としたフォーラムや、経営層と育児世代や介護世代等との座談会を開催し、男性の主体的な家事・育児参画を促進していく。</p>						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	女性が輝いて働ける環境づくり
具体的施策（大分類）	様々な分野で活躍できる女性人材育成
具体的施策	61 県・企業等における政策・方針決定過程への女性の参画の推進

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	審議会等における女性委員の割合	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		37.4%	37.3%	37.3%	37.3%	38.0%	38.8%	40.0%以上
評価指標動向の説明	・ 審議会等における女性委員の割合は、近年横ばい傾向にある。							
達成度合い（または見通し）	未達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・ 比率は上昇したものの、目標に達することはできなかった。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> 国では、H15に「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待する」という目標を掲げ、女性の参画拡大に関する取組みを進めている。 国第4次男女共同参画基本計画(H27.12策定)において、国の審議会等委員に占める女性の割合は40%以上60%以下(2020年)を 				<ul style="list-style-type: none"> 「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」に「女性の活躍推進委員会」(H29.7)を設置し、事業者・団体等における女性の活躍推進に向けた環境づくりを推進している。 関係施策を総合的かつ効果的に展開していくため、富山県民男女共同参画計画<第4次>(H30.3)を策定した。 			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
・審議会等への女性委員の参画促進	H31予算	・委員改選時等に少子化対策・県民活躍課への事前協議を徹底するなど、目標値(40%以上)の達成に向けた取組みを推進。(H31:38.8%)					
・男女共同参画チーフ・オフィサーの設置	H31予算	・事業所の役員クラスの方に、事業所内の男女共同参画を推進するチーフ・オフィサーを委嘱し、女性の活躍推進、仕事と家庭の両立支援などについて情報提供を実施(H31:230事業所)					
女性が輝く元気企業とやま賞表彰事業	H31予算	・女性の登用や能力開発など女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を顕彰(H19~H31:36事業所)					
【4 施策の進捗状況】							
第1期(H27~R1)の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 県の審議会等における女性委員の割合については、改選時等に少子化対策・県民活躍課への事前協議を徹底しているほか、平成30年度に定めた方針により、従来は対象外としていた女性登用率が40%以上45%未満の審議会等についても、女性委員1名増を目指すこととし、目標値(40%以上)の達成に向けて取組みを進めている。 						
第2期(R2~R6)に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 高度な専門性を有する審議会等において、専門的知識を有する女性の登用を一層進めていく必要がある。 						
今後の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 県の審議会等における女性委員の参画促進について、県庁各課に積極的な取組みを求めるほか、企業、経済団体、関係団体等に対しても、女性の積極的な活躍推進について引き続き働きかけを進めていく。 						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<ul style="list-style-type: none"> リーダーを目指す女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種・職種の枠を超えたネットワークを構築することを目的に実施している「煌めく女性リーダー塾」に、新たに女性幹部養成のコースを新設する。 イクボス企業同盟とやま加盟団体や男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所等を対象としたフォーラムや、経営層と育児世代や介護世代等との座談会を開催し、女性活躍や働き方改革を推進する。 						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】

基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	女性が輝いて働ける環境づくり
具体的施策（大分類）	女性の再就職等支援
具体的施策	62 女性が安心して働ける職場環境づくりや女性の再就職支援

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	30歳から34歳の女性の就業率	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		74.1% (H22)	79.0%	-	-	-	-	74.1%以上
評価指標動向の説明	・H27国勢調査における30歳から34歳の女性の就業率は79.0%となり、H22（74.1%）から約5ポイント上昇した。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	「子育て支援・少子化対策条例」に基づく一般事業主行動計画策定の義務付け（H23.4～：従業員数51人～100人の企業、H29.4～：従業員30人以上の企業）や「仕事と子育て両立支援推進員」による企業訪問、企業子宝率の調査・活用など仕事と子育てを両立できる職場環境づくりの促進等の取組みにより、目標を達成した。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

達成度合い (または見直し)																						
達成度合い(または見直し)の判断理由																						
K P I 名／実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>1 年目</th> <th>2 年目</th> <th>3 年目</th> <th>4 年目</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>(H26)</th> <th>(H27)</th> <th>(H28)</th> <th>(H29)</th> <th>(H30)</th> <th>(H31)</th> <th>(H31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	策定時	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	実績	目標	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)							
	策定時	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	実績	目標															
(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)																
評価指標動向の説明																						
達成度合い (または見直し)																						
達成度合い(または見直し)の判断理由																						
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】																						
最近の動き	連携事業																					
・女性活躍推進法（H28.4完全施行）や「働き方改革実行計画」（H29.3.28働き方改革実現会議決定）において、女性活躍や生産性向上に資する働き方改革の推進が目指されている。	・「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」に「女性の活躍推進委員会」（H29.7）を設置し、仕事と家庭の両立支援など、女性の活躍推進に向けた取組みを推進している。																					
【3 主な具体的事業の実施状況】																						
事業名	主な予算	実施状況																				
女性のキャリアデザイン応援事業	H31 予算	結婚・出産等を機に一旦離職した女性の再就職を支援するため、再就職に必要な知識やスキルを習得できるセミナーやキャリアコンサルタントによる個別指導を実施。また、産休・育休からのスムーズな職場復帰に向けた職場復帰準備講座を実施した。（H31受講者（延べ人数）：前期80名、後期：52名）																				
仕事と子育て両立支援パワーアップ推進事業	H31 予算	仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりのため、両立支援推進員による企業訪問を300件実施した。																				
女性未就業者等活躍促進事業	H31 予算	女性の能力と意欲に応じた就業と県内企業の人材確保を総合的に支援するとともに女性の活躍を促進するため、女性就業支援センターを設置（就職、在宅ワーク受注等マッチング件数H31実績268件）。																				
【4 施策の進捗状況】																						
第1期（H27～R1）の評価	A 順調に進捗した																					
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のキャリアデザイン応援事業の「女性の再就職パワーアップ講座」アンケートによると、50%の受講者が再就職を果たしている。 ・女性就業支援センターのマッチング件数は目標の150件を超え、268件を達成した。 																					
第2期（R2～R6）に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「H29子育て支援サービスに関する調査」によると、本県では、第1子出産を機に常勤・パートあわせて約5割の女性が就業を辞めている。 																					
今後の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、企業や経済団体、関係機関と連携しながら、女性の再就職支援など女性が能力を発揮しやすい環境づくりに取り組んでいく。 																					
【5 施策等の改善結果】																						
R3当初予算への反映状況	引き続き、女性のライフイベントに応じた切れ目のないキャリア形成を支援するため、結婚・出産等による離職者向けの講座及び女性特有のキャリアブランクにある女性の復帰を支援する講座を実施するほか、「仕事と子育て両立支援推進員」による企業訪問や研修会を実施することにより、女性の再就職支援や女性が安心して働き続けられる職場環境づくりの促進を図る。																					

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	女性が輝いて働ける環境づくり
具体的施策（大分類）	女性の再就職等支援
具体的施策	63 女性の再就職や職域拡大・スキルアップのための職業訓練や職業能力開発

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	職業訓練修了者における女性の就職率	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		79.9%	82.6%	82.3%	81.2%	80.4%	77.0%	79.9%以上
評価指標動向の説明	受講者の個別の状況等により多少の変動はみられるが、目標値前後で推移している。							
達成度合い（または見通し）	概ね達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・有効求人倍率は1倍以上が5年余り続いており、受講者の個別の状況により多少の変動はみられるものの、平成27年度以降ほとんどの年で目標値を達成したことから「概ね達成」とした。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> 国の計画に基づき、県で策定した「第10次富山県職業能力開発計画」に沿って「全員参加の社会の実現加速」に向け、女性の個々の特性やニーズに応じた職業能力開発を推進している。 令和2年度中に実施する職業能力開発ニーズ調査において、ニーズを把握する。 				<ul style="list-style-type: none"> ハローワークで開催している職業訓練説明会での訓練内容の紹介や、ヤングジョブとやまで個別相談会を実施している。 			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
就職支援能力開発事業	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託訓練において、育児等との両立に配慮した短時間コースを拡充（入校者 H29：18名、H30：13名、R元：16名） 託児サービスの提供（利用乳幼児 H29：6名、H30：15名、R元：6名） 					
ものづくり女性育成訓練事業	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 施設内訓練において、ものづくり訓練コースに「女性枠」を設定（入校者 H29：21名、H30：11名、R元：14名） 託児サービスの提供（利用乳幼児 H29：4名、H30：3名、R元：0名） 					
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 訓練受講者のうち女性割合の高い介護、保育分野の求人ニーズが高く、就職率も高い。 						
第2期（R2～R6）に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設内訓練のものづくり系訓練コースにおいて、「女性枠」として定員の2割程度を設定しているが、入校者数自体が定員に達していないため、女性入校者数も少ない。 女性入校者を含めた全入校者数の定員充足率が課題である。 						
今後の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 育児等によりキャリアを中断した女性の訓練受講をとおした再就職をさらに推進するため、労働局、公共職業安定所、民間教育訓練機関と連携し、女性の再就職に資する職業訓練の内容充実と周知拡大を図る。 						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<ul style="list-style-type: none"> 育児等によりキャリアを中断した女性の訓練受講をとおした再就職をさらに推進するため、労働局、公共職業安定所、民間教育訓練機関と連携し、女性の再就職に資する職業訓練の内容充実と周知拡大を図る。 						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現
具体的施策（大分類）	元気な高齢者が活躍するための支援
具体的施策	64 働く意欲のある健康で元気な高齢者への就業・起業支援による高齢者人材の活用促進

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	65歳から69歳の就業率（65～69歳の人口に占める就業者の割合）	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		40.5% (H22)	47.2% (H27)	47.2% (H27)	47.2% (H27)	47.2% (H27)	47.2% (H27)	40.5% (H22)
評価指標動向の説明	・H27は47.2%で、H22に比べ6.7ポイント上昇し、全国（H27:42.9%）と比較しても高い状況にある。（H27国勢調査）							
達成度合い（または見通し）	既に達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・社会経済情勢により左右される面が大きいのが、（一財）富山勤労総合福祉センターが実施する「生涯現役促進地域連携事業（厚労省委託事業）」と連携することとし、県の雇用施策を推進するとともに現況以上を目指す。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> 「雇用保険法等の一部を改正する法律」により、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が改正され、一定の条件の下に、これまで週20時間を就業の上限とされていたところ、週40時間まで就業できることとされた。 				<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターが対応を検討中 シルバー人材センター主催の会議への出席などを通じた協議の実施により連携予定 			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
とやまシニア専門人材バンク事業	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識や技術等を有する高齢者と企業とのマッチングに取り組んでおり、登録企業数1,858社で、登録者数4,613人のうち3,424人が就職しており、令和元年度は581人が就職した。 					
県シルバー人材センター連合運営費補助	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 就業機会や会員の拡大を図る基盤拡大事業や普及啓発事業等に取り組んでおり、会員数は、7,277人で、就業実人員は6,537人である。 					
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	B 概ね順調であるが、より一層の施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター連合会の事業活性化に向け、運営、活動に対する補助を行った。 シニア専門人材バンクの告知と登録者の増加によるマッチング拡大を図るため、企業・団体訪問やチラシの作成、配布等による普及啓発を実施。 						
第2期（R2～R6）に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 県内のシルバー人材センターの契約件数（R2.3、前年同月比4.7%減）、契約額（R2.3、前年同月比3.1%減）は共に減少しているため、引き続きシルバー人材センター連合会に対し運営・活動に対する支援を行う必要がある。 専門的知識・技術等を有する高齢者の再就職を支援するため、とやまシニア専門人材バンクの広報普及、利用促進に努め、登録者の更なる増加を図る必要がある。 						
今後の施策の方向性	新たに国の生涯現役促進地域連携事業を実施するため、高齢者就職支援地域プラットフォームとしてバンクの運営体制を見直し（求職者支援担当、求職者・企業開拓担当、生涯現役促進担当に再編し機能を強化）、引き続き、シニア人材の就労を支援。						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い企業訪問のによる仕事の切り出し、新たな求職者の掘り起こしが制限されるとともに、合同企業説明会等の規模縮小により、新たな雇用創出は例年に比べ難しい状況にあったが、令和3年度は、webを活用した合同企業説明会やセミナー等の開催を通じ、引き続き、雇用創出に努めることとしている。 						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現
具体的施策（大分類）	元気な高齢者が活躍するための支援
具体的施策	65 高齢者の社会活動への参加促進を通じたエイジレス人材の育成促進

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	地域社会で活動する高齢者等の活動件数 (とやまシニアタレントバンク登録者・登録グループの活動件数)	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		5,072	5,557	5,640	5,076	5,670	5,527	5,600

評価指標動向の説明
・(福) 富山県社会福祉協議会では、一芸に秀でた高齢者「シニアタレント」の育成を行っている。平成31年度は活動が顕著だったシニアタレントの体調不良などにより活動件数が微減となった。

達成度合い(または見通し)
概ね達成

達成度合い(または見通し)の判断理由
・シニアタレントの活動件数は、本人の体調面などに左右されるものの、概ね5,000件～5,700件で推移しており、直近2年は、目標値を超過又は目標値にほぼ到達していることから「概ね達成」と判断した。

KPI名／実績	エイジレス社会リーダー養成数	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		28	60	85	104	122	148	200

評価指標動向の説明
・平成26年度から地域活動やボランティアを通じて地域社会の担い手となる人材を養成する「エイジレス社会リーダー養成塾」を開催しており、受講修了者は25名前後で推移している。

達成度合い(または見通し)
概ね達成

達成度合い(または見通し)の判断理由
・H28、H29年と養成数は20名前後と落ち込んでいたが、H31年度には養成数が26名となるなど、年間の養成数が増えたため、「概ね達成」と判断した。

KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い(または見通し)

達成度合い(または見通し)の判断理由

KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い(または見通し)

達成度合い(または見通し)の判断理由

KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い(または見通し)

達成度合い(または見通し)の判断理由

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> 国では高齢化・人口減少社会を踏まえ、高齢者の生きがいがづくりや健康づくりを支援するため、老人クラブに対する助成や補助、エイジレスライフ実践者・団体の表彰を行っている。 				<ul style="list-style-type: none"> 県では、「富山県エイジレス社会活動推進協議会」を設置し、関係団体（経済団体、大学、市町村、老人クラブなど）と連携しながらエイジレス社会の実現に向けた取組みを進めている。 県内市町村とともに、国の助成や補助を活用し、高齢者の生きがいがづくりや健康づくりへの支援を行っている。 			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
エイジレス社会活動推進事業	H31予算	高齢者の社会参加促進のためのイベントの開催。生活支援等サービスを行う団体を設立する元気な高齢者やシニアタレント等のエイジレス人材育成を促進。					
老人クラブ振興事業	H31予算	老人クラブが地域で取り組む健康づくりや生きがいがづくり、社会貢献への支援を実施。					
明るい長寿社会づくり推進事業	H31予算	健康と長寿の祭典やいきいき長寿大学の開催、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への参加など、高齢者の健康づくり、生きがいがづくりを推進。健康と長寿の祭典は約4,000人、いきいき長寿大学は325人の参加があった。					
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 「エイジレス社会リーダー養成塾」は平成31年度末時点で148名が修了しており、一定の成果を上げている。また国、市町村、関係機関と連携し、シニアタレントの育成や関係機関への補助をはじめとした高齢者の健康づくりや教養・趣味、活動等の生きがいがづくりに対する支援を行っている。 						
第2期（R2～R6）に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 「エイジレス社会」（生涯現役社会）の実現に向け、意欲と能力のある健康で元気な高齢者が、知識や技能、経験を活かし、社会の担い手として活躍できるよう、高齢者が活躍できる社会環境づくりを一層進めることが必要である。 また、「第31回全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山2018）」の開催を契機に高まった、高齢者の運動習慣の定着や健康づくりへの気運を一過性のものとすることなく今後着実ににつなげていくため、高齢者が気軽にスポーツ等の社会参加活動に参加できる機会づくりを推進する。 						
今後の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、平成31年度当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進していくとともに、国、市町村、関係機関と連携を図っていく。 						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<ul style="list-style-type: none"> 「エイジレス社会」（生涯現役社会）の実現に向けて、高齢者がその意欲や能力に応じて、知識や経験、技能を活かし、活躍できる環境づくりを一層進めるため、新たに、モデル施設での実証実験により、地域の元気な高齢者に介護周辺業務の担い手として活躍いただく「介護助手」の導入検討に取り組むほか、人材育成やスポーツの体験の場の提供等も引き続き実施する。 						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現
具体的施策（大分類）	誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出
具体的施策	66 障害のある人のニーズに応じた就業支援

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	障害者雇用率達成企業割合 (法律で定められた障害者雇用率2.0%を達成した企業の割合、H30～2.2%)	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		54.7%	56.2%	57.5%	58.5%	54.9%	56.1%	54.7%以上
評価指標動向の説明	・ 障害者雇用率達成企業割合は、全国平均48.0%に対し富山県は56.1%、全国23位である。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・ 平成30年4月より法定雇用率の算定基礎に身体障害者、知的障害者に加え精神障害者の算入が義務化され、法定雇用率も引き上げられ、H30は下降したものの、目標は「達成」した。							
KPI名／実績	雇用障害者数 (法定雇用率の対象となる民間企業（従業員50人以上）における雇用障害者数)	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		3,417人	3,594.5人	3,751人	3,841.5人	4,235人	4,381人	3,700人以上
評価指標動向の説明	・ 障害者雇用率達成企業割合は、全国平均48.0%に対し富山県は56.1%、全国23位である。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・ 平成30年4月より法定雇用率の算定基礎に身体障害者、知的障害者に加え精神障害者の算入が義務化され、法定雇用率も引き上げられ、H30は下降したものの、目標は「達成」した。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月に法定雇用率が1.8%から2.0%に引き上げられ、雇用義務を課せられる対象が従業員56人以上から50人以上の企業に拡大。 平成27年4月1日から障害者雇用納付金制度の対象拡大 平成28年4月より雇用分野における障害者の合理的配慮の提供の義務化。 平成30年4月より法定雇用率の算定基礎に身体障害者、知的障害者に加え精神障害者の算入が義務化され、民間企業の障害者法定雇用率も2.0%から2.2%に引き上げられ、雇用義務を課せられる対象が従業員50人以上から45.5人以上の企業に拡大。また、令和3年4月までには障害者法定雇用率が2.3%に引き上げられる。 				<ul style="list-style-type: none"> 富山労働局、各公共職業安定所、県、教育委員会、市町村、関係団体等が連携し、就労支援ネットワークを形成している。各公共職業安定所は求職者、求人の仲介、各種助成事業の実施等、障害者就業・生活支援センターや関係団体は、就業や生活面での指導・助言等の実施、富山労働局、県、教育委員会、市町村は、各公共職業安定所とともに各種支援事業や企業への啓発事業などを行い、障害者の一層の就業者増、職場定着に努めている。 			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
障害者チャレンジトレーニング事業	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 県内4か所の障害者就業・生活支援センターを通じて行う短期の職場実習について、実習件数181件のうち、128件の就職実績。就職率70.7%と高水準である。 					
障害者工賃向上支援事業	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 障害者就労支援事業所を対象として工賃向上を支援するために研修を実施し、延べ64名が参加した。また、5事業所に技術指導者、1事業所に経営コンサルタントの派遣を行った。 					
とやまの特別支援教育強化充実事業	H31予算	<ul style="list-style-type: none"> 高等特別支援学校2校に各1名配置した特別支援学校就労コーディネーターによる職場開拓を実施し、地区ごとの会議で特別支援学校に情報提供したことで、平成31年度の企業等への就職率は36.1%と高水準を維持している。 					
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	A 順調に進捗した						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の支援事業や連携により、障害者雇用率達成企業割合や雇用障害者数は年々増加しており、着実に成果を上げた。 						
第2期（R2～R6）に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用率達成企業割合や雇用障害者数は、年々増加しているものの未だ4割以上の企業が法定雇用率を達成していない状況にあり、このうち1人も障害者を雇用していない企業が未達成企業のうち半数以上を占めていることから、障害者雇用に対する理解を一層促進する必要がある。 						
今後の施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の一層の就業者増、職場定着を促進するため、障害者雇用施策の充実に努めるとともに、労働局や障害者就業・生活支援センターをはじめ関係団体との連携を強化し、一体的に取り組む。 						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、障害者チャレンジトレーニング等の各種支援事業を実施するほか、障害者、企業の双方を対象にした、就職活動や採用等に役立つ情報を掲載したリーフレットを作成し、障害者雇用への周知・啓発に取り組むとともに、障害者の雇用の拡大、定着を図るため、特例子会社、特定組合等の設立に要する経費に対し補助する。 						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	ものづくり分野や観光分野などでの人材育成_外国人留学生の受入・定着の促進
具体的施策	67 企業の中核となる高度ものづくり人材の確保支援

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	就業率（15～64歳の人口に占める就業者の割合）	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
			78.3%	78.3% (H27)	78.3% (H27)	78.3% (H27)	78.3% (H27)	75.2%以上
評価指標動向の説明	・目標を達成している。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・完全失業率や新規学卒就職者の在職期間別離職率など、その他関連指標は低下傾向で推移しているほか、有効求人倍率も全国平均よりも高い水準で推移しており達成可能と判断する。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大が今後雇用情勢にどのような影響を及ぼすかは不透明な状況にあり、引き続き、感染拡大の状況等を注視する必要がある。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<p>国では、離職した失業者等の雇用機会を創出するため、各都道府県に基金を造成し、平成27年度まで各種事業を実施するとともに、平成26年度から戦略産業雇用創造プロジェクト、平成29年度からは地域活性化雇用創造プロジェクトにより、産業政策と一体となった雇用創造を実施。</p> <p>令和2年度開始の第2期のプロジェクトでは、「多様な人材の確保・活躍」を基本テーマとして、戦略的産業分野（製造業に新たに人手不足分野を追加）における職場環境改善・働き方改革の推進と企業成長を支える人材の確保・育成、定着・活躍を促進し、良質かつ安定的な雇用の実現を目指すこととしている。</p>				<p>本県は、平成26年度から平成28年度には戦略産業雇用創造プロジェクト、平成29年度から令和元年度には、富山県地域活性化雇用創造プロジェクトに取組み、この間2,716人（令和2年3月末現在）の雇用創出を実現した。</p>			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算		実施状況				
高度ものづくり人材確保支援事業	H31 予算		・ 県内中小企業が求職者に対し訓練付き雇用を実施する場合に助成 H29：26名、H30：29名、R元：24名				
ものづくり人材等育成支援事業	H31 予算		・ 県内企業が自らの企業の中核となる高度ものづくり人材を確保するための経費を助成 H29：44名、H30：38名、R元：39名				
求職者業種別就職支援事業	H31 予算		・ ものづくり分野の関連業種による合同企業説明会の開催 H29：231社、268名参加 R元：177社、91名参加 H30：187社、138名参加				
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	A 順調に進捗した						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<p>平成26年度から「戦略産業雇用創造プロジェクト」、平成29年度から「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用し、本県の基幹産業である製造業において、県内企業間の連携による新技術・新商品の開発支援を行いつつ、成長が期待できる「次世代自動車・航空機・バイオ医薬品」への取組みを強化するとともに、第4次産業革命を見据えた「IoT・AI」、製品に高付加価値を与える「デザイン・クリエイティブ」への対応を、雇用機会の創出、労働生産性の向上、人材確保・育成の観点から支援してきた。</p> <p>その結果、当該プロジェクトへの参加企業数、雇用創出数ともに目標を大きく上回り、県内ものづくり企業の新分野進出、新技術・新商品開発、販路拡大などにおいて大きな成果があった。</p>						
第2期（R2～R6）に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産年齢人口の減少、雇用のミスマッチ、都市部への若者や女性の流出等を背景に、中小企業を中心に人手不足の状態が継続 ・ 有効求人倍率は、全国平均を上回る高い水準で推移 ・ 特に建設業、運輸業、宿泊・飲食サービス業・卸・小売業・介護は人手不足が深刻 ・ 全国平均よりも多い出勤日数と労働時間に比べ、所定内給与が低い等職場環境改善が進んでおらず、業務の効率化、生産性向上が課題 						
今後の施策の方向性	<p>令和2年度開始の第2期のプロジェクトでは、「多様な人材の確保・活躍」を基本テーマとして、戦略的産業分野（製造業に新たに人手不足分野を追加）における職場環境改善・働き方改革の推進と企業成長を支える人材の確保・育成、定着・活躍を促進し、良質かつ安定的な雇用の実現を目指すこととしている。</p>						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	<p>・ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う企業訪問の制限やセミナー等の規模縮小により、十分な企業支援ができず、良質な雇用の創出は難しい状況にあったが、令和3年度は、webを活用した企業面談やセミナー等の開催を通じ、引き続き、良質な雇用の創出に努めることとしている。</p>						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	ものづくり分野や観光分野などでの人材育成_外国人留学生の受入・定着の促進
具体的施策	68 官民連携による人材の掘り起こし・育成やグローバル人材の育成支援

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	地域創生人材育成事業を活用した就業者数	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
			41人	206人	348人	0人	0人	414人
評価指標動向の説明	・地域創生人材育成事業は、H27～29年度（3年間）の事業であるため、平成26年度以前の実績はない。 ・H27に41人、H28に165人、H29に142人の就業者数があり、3年間の累計が348人となった。							
達成度合い（または見通し）	概ね達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・地域創生人材育成事業は、H27～29年度の3年間で終了したが、3年間の就業者数累計は348人となり、H31の目標（414人）の84%まで達成している。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
なし				・平成27年度に富山県地域人材育成協議会を設置し、労使団体・民間教育訓練機関・有識者・国等との連携を図っている。			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算		実施状況				
グローバル人材活躍事業	H31 予算		県内企業や大学関係者を対象としたグローバル人材が活躍する県内企業へのバスツアーや座談会の開催（12社15名）、留学生と企業のマッチングを図る北陸3県合同就職相談会・企業研究会の開催（3回開催、延52社（内県内企業延14社）、延114人参加）、留学生向け就職セミナー・企業ツアー等を実施				
アジア高度人材受入事業	H31 予算		ベトナムの優秀な学生等と県内企業とのマッチングを行うため、現地選考会（9社、20名）の開催、内定者を対象に日本語等の必要な知識を習得させる富山就職プログラム（6名）等を実施				
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	A 順調に進捗した						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	・人手不足となっている「ものづくり」、「介護・福祉」、「建設」のほか、今後高い需要が見込まれる「観光」の分野を対象に、専門的かつ実践的な人材育成事業等を実施した結果、事業を実施したH27～29年度の3年間の就業者数累計は348人と目標の84%の達成率となったため順調と判断した。						
第2期（R2～R6）に向けての課題	・人手不足の中、各分野の人材育成事業における雇用型訓練等の参加者をいかに確保するかが課題となっている。						
今後の施策の方向性	・引き続き、国や民間機関等とも連携をしながら、各分野の人材育成や就労支援、人材の掘り起し等の施策を着実に推進していく。						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	・引き続き、国や民間機関等とも連携をしながら、各分野の人材育成や就労支援、人材の掘り起し等の施策を着実に推進していく。						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	ものづくり分野や観光分野などでの人材育成_外国人留学生の受入・定着の促進
具体的施策	69 「とやま起業未来塾」等による若者・女性・熟年者への起業支援

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	とやま起業未来塾修了生の創業等済率	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		70.5%	71.6%	71.8%	71.8%	71.3%	72.0%	70.5%以上
評価指標動向の説明	・とやま起業未来塾修了生の創業等は、順調に推移している。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・経営者や専門家による実践的な講座やプラン指導、経営指導といった充実したカリキュラムと講師等のバックアップにより、目標を達成した。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<p>・国では、全国で創業支援機関による創業スクールを開催し、創業予備軍の掘り起こしをはじめ、創業希望者の基本的知識の習得からビジネスプランの策定までの支援を行っている。また、産業競争力強化法に基づき、市区町村が民間の創業支援事業者と連携して創業支援事業計画を作成するなど、地域における支援体制の構築を図っている。</p>				<p>・それぞれの事業の受講者募集の際には、市町村や関係団体に周知の協力をいただいている。</p>			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算		実施状況				
とやま起業未来塾事業	H31予算		・令和元年5月から11月に開講し、19名が修了した。				
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	A 順調に進捗した						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<p>・とやま起業未来塾を通じた創業支援により、直近の調査では修了生の創業等済率が72.0%となるなど、着実に成果を上げている。また、異業種の修了生同士の連携により、新たな事業の創出にもつながっている。</p>						
第2期（R2～R6）に向けての課題	<p>・より多くの起業家人材を育成するため、引き続き県民の起業家精神やチャレンジ精神の涵養・醸成に努め、起業家の裾野拡大を図っていく必要がある。</p>						
今後の施策の方向性	<p>・引き続き、事業を着実に進めていくとともに、市町村や関係団体との連携を図っていく。また、とやま起業未来塾において、30年度に創設した未来ビジネス創造コースにより少人数指導を行い、国内外で活躍するロールモデルの創出を図る。令和2年度よりクラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、資金調達の支援を行う。</p>						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	既存のとやま起業未来塾を発展解消し、R3は休止、R4に新たなスクールとして開講する。						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	ものづくり分野や観光分野などでの人材育成_外国人留学生の受入・定着の促進
具体的施策	70 「とやま観光未来創造塾」等による観光人材の育成

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	とやま観光未来創造塾の修了者数（累計）	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		305人	370人	413人	479人	532人	585人	650人
評価指標動向の説明	・平成23年度より、①おもてなし力の向上、②お客様に満足いただける観光ガイドの育成、③魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成、④地域資源を生かしたインバウンドツーリズムを企画・実施できる人材育成を目的として、「とやま観光未来創造塾」を開講。新たなコースを追加するなど、時代のニーズに応えた充実を図っている。							
達成度合い（または見通し）	未達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・これまで毎年50～60人程度の修了者を継続して輩出しており、現在も多くの修了生が県内各地域で観光事業等に従事し活躍しているが、目標値には達していないため、未達成とした。							
KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標	
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)	
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標	
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)	
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標	
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)	
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

K P I 名／実績	策定時	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き							
・観光庁において、各地域で観光地域づくり人材育成に取り組む団体や組織が、課題や先進事例に関する情報を共有・交換することにより、情報やノウハウ不足を解消できる機会を提供し、各地域の自立的かつ持続可能な人材育成の取組みを支援している。				・県、市町村、(公社)とやま観光推進機構、市町村観光協会、観光事業者等が連携し、官民一体となって戦略的な観光地域づくりを推進している。 ・観光業だけでなく、他産業との連携を図るため、3塾連携講座(とやま起業未来塾・とやま農業未来カレッジ)を実施し、ネットワークの形成を図っている。			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算						
とやま観光未来創造塾事業	H31予算		・観光に携わる方々のおもてなし力の向上、観光ガイドや地域づくりをリードする人材や着地型ツアーを企画・実施できる人材を育成				
おもてなしタクシードライバー養成事業	H31予算		・おもてなし優良タクシードライバー養成講座を開催し、受講者の中から特におもてなしに優れたドライバーを表彰				
【4 施策の進捗状況】							
第1期 (H27～R1) の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	・北陸新幹線の開業効果を最大限に活かし、国内外の旅行者から選ばれ続ける観光地として大きく飛躍するため、観光に携わる方々のおもてなし力の向上、観光ガイドや地域づくりをリードする人材の育成を目指し、平成23年度より「とやま観光未来創造塾」を開講し、これまで延べ585名の修了生を輩出し、その多くが現在も観光事業に従事し、県内各地域で活躍している。ただし、来県された旅行者の満足度を高め、富山県が「選ばれ続ける観光地」となるためには、質の高いサービスを提供できる人材をさらに充実していく必要がある。						
第2期 (R2～R6) に向けての課題	北陸新幹線の令和4年度末の敦賀開業の効果を最大限引き出し、ウィズ・アフターコロナ時代に向けた観光産業の復興や持続的発展を実現するため、観光人材の育成や各分野での活躍促進をさらに進める必要がある。						
今後の施策の方向性	引き続き、令和2年度当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進するほか、令和2年度中に策定予定の「新たな観光振興戦略プラン」に向けて、必要な取り組みを検討・実施していく。						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	・とやま観光塾において、県内各地で活躍している方を講師とした講義を新たに行うなど、カリキュラムを充実させ、観光ガイドや地域づくりをリードする人材の育成に努める。 ・県内大学と連携し若い観光人材の発掘・育成を図るほか、修了生の活動事例の情報発信等により地域での活動を支援していく。 ・引き続き、接遇や観光などの講座の開催や、特に優れたドライバーの表彰などにより、タクシードライバーのおもてなし力の向上に努める。						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】

基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	ものづくり分野や観光分野などでの人材育成_外国人留学生の受入・定着の促進
具体的施策	71 外国人留学生の受入れ促進

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	アセアン留学生受入数	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		19人/年	14人/年	32人/年	32人/年	28人/年	35人/年	24人/年
評価指標動向の説明	アセアン留学生受入数は30人/年前後で推移している。							
達成度合い（または見通し）	達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	県内企業と連携した就職一体型のアセアン留学生の受入を行うなど、施策の推進に努めた。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・国では「グローバル戦略」展開の一環として、2020年を目処に留学生受入30万人を目指しており、優秀な留学生獲得に向け、関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進している。 ・県内高等教育機関においては、国の「COC+事業」を活用し、留学生の県内定着の取組みを展開している。 				県、県内高等教育機関、県内企業が連携しながら、留学生の受入から県内企業への就職までの一貫した支援を実施している。			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
外国人留学生支援対策事業	H31 予算	私費留学生に対する国際交流奨学金の支給178人、私費留学生の国民健康保険加入への助成336人、県内企業と連携した就職一体型の受入留学生に対する交付金の交付13人（第2期生4人、第3期生5人、第4期生4人）					
グローバル人材活用促進事業	H31 予算	県内企業や大学関係者を対象としたグローバル人材が活躍する県内企業へのバスツアーや座談会の開催（12社15名）、留学生と企業のマッチングを図る北陸3県合同就職相談会・企業研究会の開催（3回開催、延52社（内県内企業延14社）、延114人参加）、留学生向け就職セミナー・企業ツアー等を実施					
（公立大学振興事業費のうち）県立大学留学生受入促進事業	H31 予算	国費外国人留学生に対する渡航費の助成を実施					
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	A 順調に進捗した						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	外国人留学生に対する奨学金等の経済支援や県内企業への就職支援、県内企業と連携した就学から就職までを一体とした留学生の受入れ促進等を実施し、留学生の受入れ、定着促進に取り組んでいる。						
第2期（R2～R6）に向けての課題	本県の経済や地域社会の活性化のため、優秀な留学生の県内高等教育機関への受入れを拡大し、経済活力や地域活力を支える貴重な人材として育成していく必要がある。						
今後の施策の方向性	引き続き、令和2年度当初予算に盛り込んだ事業を着実に推進していくとともに、県内企業のニーズを踏まえながら、県内高等教育機関と連携を図っていく。						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	引き続き、外国人留学生への奨学金等の経済支援から就職支援まで一体的に取り組んでいく。						



【とやま未来創生戦略 施策評価表】

基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	ものづくり分野や観光分野などでの人材育成_外国人留学生の受入・定着の促進
具体的施策	72 外国人留学生にも暮らしやすい多文化共生の地域づくり

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	県内外国人留学生の県内就職数	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		21人	18人	24人	29人	23人	29人	130人(H27.3卒業～H31.3卒業累計)

評価指標動向の説明
県内の外国人留学生の県内就職数は20人半ばで推移している。

達成度合い（または見通し）
未達成

達成度合い（または見通し）の判断理由
持続的な留学生受入れに向け、引き続き施策を推進するとともに、大学や関係機関と連携を図りながら、外国人留学生の県内就職者数の増加を図る必要がある。※H26～30の5年間で130人を目標としていたが、実績は115人であり、目標を達成できなかった。

KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い（または見通し）

達成度合い（または見通し）の判断理由

KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い（または見通し）

達成度合い（または見通し）の判断理由

KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い（または見通し）

達成度合い（または見通し）の判断理由

KPI名／実績	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)

評価指標動向の説明

達成度合い（または見通し）

達成度合い（または見通し）の判断理由

K P I 名／実績	策定時	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	実績	目標
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明							
達成度合い (または見通し)							
達成度合い(または見通し)の判断理由							
【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】							
最近の動き				連携事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・国では「日本再興戦略」において外国人材の活用を掲げており、高度外国人材や留学生の受入拡大、専門的・技術的分野における外国人材やEPAIに基づく介護人材などの活躍促進に向けた施策を講ずることとしている。また、平成31年4月から新たな在留資格（「特定技能」）が創設されるとともに、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」が策定（H30.12月閣議決定、R元.12月改訂）された。 ・令和元年6月、「日本語教育の推進に関する法律」が成立し、日本語教育における国・地方自治体等の責務が明文化された。 				行政、企業、国際交流団体、その他関係機関で構成する「富山県外国人材活躍・多文化共生推進連絡会議」を開催するなど、関係各機関との連携を図っている。			
【3 主な具体的事業の実施状況】							
事業名	主な予算	実施状況					
在住外国人・多文化共生推進事業	H31 予算	地域社会のための初期日本語教室を県内4カ所で開催したほか、日本語ボランティア養成のため、地域日本語教室へアドバイザーを派遣した（48回）。また、災害時における外国人支援のための研修・訓練を開催した（5回）。さらに、多言語による生活情報の提供や様々な分野の相談対応を一元的に行うため、新たに「富山県外国人ワンストップ相談センター」を開設した。					
【4 施策の進捗状況】							
第1期（H27～R1）の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要						
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	日本語ボランティア養成者が着実に増加するとともに、在住外国人からの相談対応の充実や災害等の外国人支援体制の整備など、少しずつではあるが地域における多文化共生に向けた環境が整備されてきている。						
第2期（R2～R6）に向けての課題	令和元年9月に策定した「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン」に基づき、今後より一層市町村や関係機関等と連携して、実効性のある施策を計画的・総合的に推進していく必要がある。						
今後の施策の方向性	引き続き、令和2年度当初予算に盛り込んだ事業や、「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン」に基づく取組みを着実に推進していくとともに、外国人留学生や高度外国人材が活躍しやすい環境づくりを整備し、定着促進を図っていく。						
【5 施策等の改善結果】							
R3当初予算への反映状況	引き続き、「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン」に基づき、富山県外国人ワンストップ相談センターの運営、日本語教育人材の確保・育成のための養成講座の実施、多文化共生の理解を深めるためのフォーラムの開催など、多文化共生の推進に取り組んでいく。						

【とやま未来創生戦略 施策評価表】	
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上
具体的施策（大分類）	労働生産性の向上と産業の高度化支援
具体的施策	73 「サービス産業チャレンジプログラム」を踏まえた生産性向上の支援

【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】

KPI名／実績	年平均新設事業所数のうちサービス業の数（経済センサスによる年平均新設事業所数）	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		2,186件 (H24-26)	—	1,813件 (H26-28)	—	—	940件 (H28-31)	3,000件 (H29-31)
評価指標動向の説明	・新規事業所数については、全国において225,543件（H28-31）から141,780件（H28-31）と減少する中、本県においても同様の動きが見られる。							
達成度合い（または見通し）	未達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	・市町村や関係団体等と連携し、サービス業新設に向けた取組みを実施してきたものの、全国における傾向と同様に、新設事業所数が減少しており、目標値の達成には至らなかった。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】

最近の動き	
<p>・国では、平成27年4月15日に『サービス産業チャレンジプログラム』が策定された。これを受けて官庁横断的な表彰制度である「日本サービス大賞」が創設される等の取組みや事業者の生産性を向上を目的とした「サービス等生産性向上IT導入支援事業」が実施されているところである。</p>	<p>・県、市町村、関係団体等が連携し、サービス業の生産性向上に向けた取組みを行うこととしている。</p>

【3 主な具体的事業の実施状況】

事業名	主な予算	
ITビジネス利活用促進支援事業	H31予算	・県内中小企業の経営者を対象としたネットビジネスに関する講座の開催に対し補助した。（講座：延べ10回）
電子商取引市場参入支援事業	H31予算	・電子商取引市場参入推進のためのセミナーや電子商取引市場での販売力強化を目的とした講座を開催した。（13回） ・県内小売業者等を対象としたキャッシュレスに関するセミナーを開催した。（2回）
小規模事業指導費補助金	H31予算	・商工団体が実施する「とやまエキスパート・バンク事業」（専門家派遣による個別指導）に対し補助した。（サービス業指導件数：109件）

【4 施策の進捗状況】	
第1期（H27～R1）の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	・ ネットビジネスに関する講座の開催に対する支援や、電子商取引市場での販売力強化を目的とした講座開催等実施してきたが、KPI未達成（見込み）のため、より一層の施策の推進が必要であると判断した。
第2期（R2～R6）に向けての課題	・ 北陸新幹線延伸による人の流れの変化や、消費者ニーズの変化に対応するため、引き続きサービス業に関する人材育成等に取り組む必要がある。
今後の施策の方向性	・ 電子商取引を通じた小売業者等の販売力強化を目的としたセミナー等を引き続き実施する。
【5 施策等の改善結果】	
R3当初予算への反映状況	・ 実店舗で売上げが伸び悩む小売業者の稼ぐ力の向上を図るため、引き続き電子商取引市場への参入や電子商取引市場での販売力強化を目的としたセミナー等を実施する。 ・ ネットビジネスに関する講座の内容を見直し、アフター・ウィズコロナに対応したオンラインでの展示会や商談会の講座の開催に対する支援事業を実施する。

とやま未来創生戦略施策評価		とりまとめ担当部局・室課： 農林水産部・農林水産企画課					TEL（直通） 076-444-9622	
【とやま未来創生戦略 施策評価表】								
基本目標	女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上							
基本的方向	多様な人材の確保と労働生産性の向上							
具体的施策（大分類）	労働生産性の向上と産業の高度化支援							
具体的施策	74 ものづくり・ICT技術等を活用した生産性の高い農業の展開							
【1 重要業績評価指標（KPI）の動向】								
KPI名／実績	富山県の農業産出額	策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
		581億円	617億円	666億円	661億円	651億円	654億円	698億円
評価指標動向の説明	策定時と比べ増加傾向となっており、その主な要因は、米について価格が比較的高く、安定した作柄及び品質であったことや、野菜の生産が拡大したことによる。直近の動向としては、農業産出額の69%を占める米の作柄（作況指数H30：102→R1：102）や価格（富山コシヒカリ取引価格 H30：15,396円/60kg→R1：16,002円/60kg）が横ばいからやや上昇し、たまねぎの作付面積は横ばい（H30：192ha→R1：196ha）となった。							
達成度合い（または見通し）	概ね達成							
達成度合い（または見通し）の判断理由	米の消費量の減少や米政策の見直しなどが進むなか、全国での供給量の増加や産地間競争の一層の激化により、米価の低下が懸念されるとともに、経済連携協定の進展など経済のグローバル化の動向によっては、経営環境の悪化なども懸念される。このため、先行き不透明な部分はあるものの、需要に応じた米の計画的生産、園芸の生産拡大等による水田のフル活用、新品種・新技術の活用やスマート農業による農畜産物の生産性向上をさらに推進することなどにより、概ね達成とした。							
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								
KPI名／実績		策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	実績	目標
		(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H31)
評価指標動向の説明								
達成度合い（または見通し）								
達成度合い（または見通し）の判断理由								

【2 施策をとりまく国、市町村、民間（産学金労言）の最近の動きと連携状況】		
最近の動き	連携事業	
<p>・国では、令和2年3月策定の「食料・農業・農村基本計画」において、食料の安定供給の確保に向けた農業生産基盤の強化を図ることとしており、「農業生産基盤強化プログラム」に基づき、人材の育成・確保やスマート農業の加速化、本田のフル活用等の推進など農業の持続的な発展に向けた施策を推進することとしている。</p> <p>・県内においては、地元民間企業が中心となり、野菜等の低コスト、周年・計画生産を実現する、地域資源エネルギーとICTによる環境制御技術を活用した次世代施設園芸拠点のPRを実施。</p> <p>・県花卉球根農協を中心に、ロボット技術を活用したチューリップ球根ネット栽培専用機が開発され、更なる作業時間短縮に向けた周辺機器の整備や収穫後処理工程の検証が実施されている。また、開発機が大型で移動ほ場が限られるため、小型・軽量化機械の開発が進められている。</p> <p>・薬用作物栽培の省力化を図るため、H26～H28の3ヶ年で生産から加工に至る一連の機械の開発を支援するとともに、付加価値の高い薬用作物の生産を支援するため、薬用植物指導センターを整備した。</p>	<p>・TPP11等の経済連携協定の発効に伴う経済のグローバル化の進展、米政策や「農業生産基盤強化プログラム」が推進される中、本県農業の生産性・収益性の向上に向けた具体的な対策や支援策などを講じるよう、国への働きかけを行っている。</p> <p>・米政策の見直しにより、富山県農業再生協議会で、県段階の方針として、令和元年度以降も「需要に応じた米生産」と「水田のフル活用」に取り組むこととしている。</p> <p>・大規模な野菜・切り花生産を行う次世代施設園芸拠点の普及活動を支援している。</p> <p>・本県の主要な特産物であるチューリップ球根の生産拡大に向け、省力低コスト生産体系の確立が喫緊の課題であることから、開発されたネット栽培専用機の性能が最大限に発揮できるよう周辺機器の整備や現地における実証・普及を支援した。また、開発機の汎用性を拡大するため、小型・軽量化に向けた試作機の開発・実証を支援している。</p> <p>・県内における薬用作物の栽培振興や産地化に向け、多収栽培技術の確立や省力化に向けた栽培機械の開発を支援している。</p> <p>・ICTやロボット技術を活用するスマート農業の普及に向け、県と関係団体（JA、生産者団体等）で構成する「とやま型スマート農業推進コンソーシアム」を設置し、モデル農場での技術実証などに取り組んでいる。</p>	
【3 主な具体的事業の実施状況】		
事業名	主な予算	実施状況
次世代型チューリップ生産技術実証モデル事業	H31予算	・園芸研究所で開発した「ほ場感染リスクに基づく土壌伝染性ウイルス防除対策法」を県内に普及するため、5市町（入善町、朝日町、南砺市ほか）でモデル実証を実施した。
次世代施設園芸地域展開促進事業	H31予算	・次世代施設園芸の地域への普及促進を図るため、次世代施設園芸指導者育成研修を実施した。また、県内施設園芸農家を対象に拠点施設を使ってトマトやイチゴの高度環境制御技術研修を実施した。
とやま型スマート農業推進事業	H31予算	県、農業団体、商工分野、民間企業等からなるコンソーシアムを中心として、ICTやロボット技術等を活用したスマート農業の個別技術実証や面的普及に向けたモデル実証を行った。
【4 施策の進捗状況】		
第1期（H27～R1）の評価	B 概ね順調であったが、より一層の施策の推進が必要	
第1期を通しての進捗状況及び評価判断理由	<p>・H30年農業産出額は、H29年から概ね横ばいとなっているものの、関係機関と連携した関連事業の実施等により、①夏の猛暑や秋の台風、長雨などの厳しい気象条件のなか、R1年産米の1等比率が86.4%（3月末）と北陸4県で最高となるなどの米の品質向上・ブランド化、②麦・大豆の安定生産や、園芸作物、飼料用米などの生産拡大が図られるなど、施策の取り組みは概ね順調に進んでいる。</p> <p>・次世代施設園芸拠点における大規模な施設園芸栽培技術等について、研修会の開催等を通じ、その取組成果の地域への普及を図っている。</p> <p>・開発されたチューリップ球根植込・収穫ロボットを核としたネット栽培体系の確立に向け、ロボットで収穫した大量の球根を効率的に水洗・乾燥・選別する体系の確立と生産現場への普及拡大を図るためのロボットの小型・軽量化に向けた研究開発等を支援している。</p> <p>・薬用作物の生産拡大に向け、シャクヤク栽培の技術確立とともに、苗供給拠点の設置や適用農薬の拡大に向けた取り組み等を支援している。</p> <p>・以上により、KPIは概ね達成の見込みだが、引き続き、産地競争力の強化に向けた取組が必要。</p>	
第2期（R2～R6）に向けての課題	米の高品質化や、園芸作物、飼料用米の生産拡大が進んでいるものの、米政策の見直しや国の「農業競争力強化プログラム」の策定、経済のグローバル化など農業情勢や施策が大きく変化する状況にあり、引き続き、地域の創意工夫による米政策改革への対応や、「富富富」の戦略的な生産・販売の推進、収益性の高い園芸作物の生産拡大、畜産経営の基盤強化、ICTやロボット技術を活用したスマート農業の推進など、産地競争力の強化に努めていく必要がある。	
今後の施策の方向性	引き続き、令和2年度予算に盛り込んだ関連事業を着実に推進していくとともに、国、市町村、JA、生産者組織等の関係団体と連携を図っていく。	
【5 施策等の改善結果】		
R3当初予算への反映状況	<p>・チューリップ球根の省力低コスト生産を普及するため、ネット栽培体系の導入とモデル実証を支援する。施設園芸を推進するためスマート園芸ハウスの整備や技術習得に支援するなど、施設園芸の担い手育成に取り組む。</p> <p>・スマート農業については、県の「とやま型スマート農業推進事業」を継続し、新規に「スマート農業普及支援事業」を予算化するとともに、地方創生拠点整備交付金を活用して整備した「スマート農業普及センター」における研修の充実により、技術の普及、人材育成に努めていく。</p>	